

原子力 ワンポイント



広く利用されている放射線 27

国連科学委員会は二日、福島第一原発事故の影響について、「福島県の住民全体でみたがんの増加は確認できないほど少ない」と発表しました。これを裏付けるものとして、福島県「コープふくしま」の陰膳方式による調査結果を紹介しま

す。

ゆりちゃん「コープふくしま」による陰膳（かげぜん）調査って何ですか。

タクさん 陰膳というのは「もともと旅行者などその場にはいない人の健康を願って、食卓のみんなと同じ食事をもつ一セットつくって供える」という日本古来の風習です。コープふくしまの陰膳調査とは、普段その家で食べている食

事をもう一人分、余計につくって提供してもらい、食材に含まれる放射性物質（放射性セシウム）濃度を測定し、日々の食事から受ける内部被ばく線量を予測・評価

してみましょう。調査は、福島県の五地区に居住する組合員、百家庭を対象として行われました。中通りに位置する県北地域の四十二家庭および県中地域三十八家庭、合わせて八十家庭が、全体の八割を占めて

コープふくしま陰膳調査で食の安全検証

するものです。

ゆりちゃん 陰膳調査の方法を教えてください。

タクさん 第一回目の陰膳調査（二〇一一年十一月～二〇一二年四月）を例にとつて説明



出典：食品分析開発センターHP
佐藤理「食の安全安心セミナー講演」

れる計画です。

ゆりちゃん 結果はどうだったのですか。

タクさん 第一回目と第二回目の陰膳調査の結果が英国の学術誌(Journal of Radiological Protection, n. 33, 2013)に掲載されました。この陰膳調査の期間は、二〇一一年十一月～二〇一二年三月と、二〇一二年六月～二〇一二年九月で行われた活動で、しかも国際的に評価が高い科学誌の論文であるという点で、大変意義深いとのコメントが寄せられています。

食)が宅配便で検査センターに送られ、ゲルマニウム半導体検出器で放射能測定がなされます。陰膳調査は約六か月毎に一回、ほぼ同様な方法でこれまでに五回、延べ五百家庭を対象として行われました。二〇一四年度も継続して実施される計画です。

器の検出限界値)を越えていたのは、二百家庭のうち十二家庭でした。最も大きな放射性セシウム濃度の食事を二年間、食べ続けたとしても、年間の内部被ばく線量は0.1mSv(公衆の線量限度の十分の一)を超えないことはありません。

専門家から、「今回の論文が、科学とは縁がないと考えられている生協で行われた活動で、しかも国際的に評価が高い科学誌の論文であるという点で、大変意義深い」とのコメントが寄せられています。